

特別なエネルギーを持つオーケストラを創りたかった。
世界最高のオーケストラから集まり、その熱意を持ち寄ってくれる、
そうした人々だけで構成されたユートピアなオーケストラを。

——— テオドール・クルレンツィス

テオドール・ クルレンツィス 指揮 ユートピア管弦楽団

ヴァイオリン | **ダニエル・ロザコヴィッチ**



©Marco Borggreve

ショスタコーヴィチ ヴァイオリン協奏曲第1番

(ヴァイオリン:ダニエル・ロザコヴィッチ)

ストラヴィンスキー 春の祭典

©Nadia Romanova

クラシック界を席卷する風雲児クルレンツィス! 衝撃の来日!
話題沸騰の大編成ヴィルトゥオーゾ・オーケストラを率いて

2026 **11/20** 金 19:00開演 (18:15開場) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

チケット料金 A席 32,000円 B席 27,000円 C席 22,000円 D席 17,000円 E席 12,000円 (消費税込)

■芸術文化センターチケットオフィス
0798-68-0255 [10:00~17:00]
月曜定休 ※祝日の場合要日
<https://www.gcenter-hyogo.jp>
※窓口販売は6/23(火)より開始(残席がある場合のみ)
■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:324-984]
■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:56022]
■CNプレイガイド 0570-08-9990
■e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

■ABCぴあ(webで予約・購入)

ABCぴあ 検索 携帯サイトは

<https://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる! クレジット決済も可能!!

メルマガで優先予約をご案内!! 1度登録すると次回予約が簡単!!

※未就学児のご入場はお断りいたします。 ※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催/企画・制作: エイベックス・クラシックス 共催: ABCぴあ、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 制作協力: インタースペース

6/19(金) あさ10時より
ABCぴあ / 兵庫県立芸術文化センター会員
先行予約受付開始

6/21(日) あさ10時より
各プレイガイドで一般発売

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
平日10:00~17:30 ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

お問い合わせ

テオドール・クルレンツィス かく語りき

私がやろうとしていることは、音楽を再生産するのではなく、新たに蘇らせることだ。単に演奏するのではなく、超絶的な体験を引き出したい、それにはエネルギーが必要だ。

ユートピア(理想郷)とは不可能なものです、それこそが私たちが惹きつけるのです。

——不可能を可能にすること。最もユートピア的な夢は、それが不可能だと考えるのをやめた瞬間に現実となるのです。

どのオーケストラにも、熱意に欠ける人はいますが、一方で、音楽に取り組む意欲に満ちた特別な人々もいます。そして、彼らこそが違いを生み出すのです。『ユートピア管弦楽団』では、世界最高のオーケストラから集まり、その熱意を持ち寄った、まさにそのような人々だけで構成され、特別なエネルギーに満ちたオーケストラを作りたかったのです。結成の目的のひとつは、異なる文化を結びつけることでもあります。例えばヴィオラ・セクションだけでも、14カ国の国籍が揃っています。

集まった音楽家は、高度な技術を持っているだけでなく、精神的な動機も持っています。ユートピア管弦楽団の中では、ユース・オーケストラのような信じられないほどの熱意が漂っています。彼らは互いを愛し、尊重し合っているのです。これはオーケストラにおける民主主義の新たなビジョンなのです。

オーケストラを構成しているのはコンサートマスターやソリスト、その分野における最高の演奏家たちです。しかし、彼らの卓越した技量に加えて、彼らを結びつけているのは、音楽の本質に迫りたいという情熱、そして想像力が導く道を共に歩みたいという切なる願いです。もちろん、これはユートピア的な発想ですが、まさにそれが私たちを駆り立て、インスピレーションを与えてくれるのです。

ドラマ性こそが重要だ。
それが秘密であり、本質であり、
生命そのものだ。



テオドール・クルレンツィス
指揮
Teodor Currentzis
conductor



ユートピア管弦楽団
Utopia Orchestra



ダニエル・ロザコヴィッチ
ヴァイオリン
Daniel Lozakovich
violin

ユートピア管弦楽団・合唱団の創設者兼芸術監督、ムジカエテルナの芸術監督でもあり、2018年から2024年まではSWR(南西ドイツ放送)交響楽団の首席指揮者。ギリシャに生まれ、同地で音楽を学んだのち、1994年にサンクトペテルブルク国立音楽院に入学。伝説的教授であるイリヤ・ムーシンに師事した。自身のアンサンブルとともに、ベルリン・フィルハーモニーホール、フィルハーモニー・ド・パリ、ウィーン・コンツェルトハウス、スカラ座など数多くの著名な会場で公演を行い、世界各地を定期的にツアーしている。オペラ指揮者および音楽監督として、パリ・オペラ座、バイエルン国立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、ポリショイ劇場をはじめとする主要なオペラハウスと協働している。ザルツブルク音楽祭、ルール・トリエンナーレ、ルツェルン音楽祭、エクサン・プロヴァンス音楽祭でレジデント・アーティストを務めている。

指揮者テオドール・クルレンツィスが率いる国際的なフェスティバル・オーケストラ。世界中から一流の音楽家を結集させることを目指し、その構造、財政、運営のいずれにおいても、他のいかなる団体や機関にも属さず独立して活動している。ユートピア管の最初のコンサートは2022年10月に行われた。設立以来、ザルツブルク音楽祭において毎年レジデントを務め、ロメオ・カステルツ演出によるモーツァルト＝ダ・ポンテ《ドン・ジョヴァンニ》の上演ならびに複数のコンサート・プログラムを披露している。2025年には、ピーター・セラーズ演出によるラモールのオペラ《カステールとポリュクス》のパリ・オペラ座初演に参加。秋には、ヨーロッパ最大級のコンサートホールにてワーグナー《言葉のない指環》を演奏。2026年5月には、マーラーの交響曲第1番およびベルクのヴァイオリン協奏曲を演奏するツアーが予定されている。

2001年ストックホルム生まれ。9歳でスピヴァコフ指揮にてデビュー。15歳でドイツ・グラモフォンと契約し、現在はワナー・クラシックス専属。2025/26年シーズンはマケラ指揮コンセルトヘボウ管との韓国ツアーを皮切りに欧米主要楽団と共演。2026年3月にはクルレンツィス指揮のもと、自身に献呈されたデュサパンのヴァイオリン協奏曲第2番を世界初演する。これまでにシカゴ響、パリ管、N響等の主要楽団や、シャイー、ネルソンスら巨匠と共演。録音ではバッハの協奏曲集が独仏で1位、チャイコフスキーの協奏曲ライブ盤が英誌で過去70年のベスト録音に選出される等、極めて高い評価を得ている。使用楽器はLVMH賞与の1713年製ストラディヴァリウス。